新運転東京

第83号
（通巻348号）
2019年12月25日

発行人
新産別運転者労働組合
東京地方本部
（略称・新運転東京）
編集兼発行人　川村　勝
〒110-0003
東京都台東区根岸
3-25-6
TEL03-5603-1300
FAX03-5603-5300

第６４回定期大会開催！

結成６０周年を契機に新たな飛躍を誓う！

長引くデフレ経済、貧困と格差拡大の主犯といえる消費税が10月から10％となった。その増税の一方で、高額所得者と大企業の法人税は引き下げられ、社会保障費給付の引き下げと負担増のダブルパンチに加え、トランプ軍需産業営業担当の為に莫大な予算を浪費する売国安倍政権。

新運転東京地本にとって歴史的節目となる一年を振り返って我々は、組合員の個々が新運転ブランドと労働者供給事業という働き方に自信と誇りを持ち生活と運動に取り組めるよう年齢・職種・職場別に集会や行動を重ねてきた。本大会では以上の諸活動の総括議論の上に、新たな組織改革と戦略・戦術の飛躍を目指す方針論議がなされた。

去る11月17日（日）午前10時、会場となった日本教育会館に役員、代議員、ご来賓の方々が勢ぞろいすることを確認して、司会の菅原副委員長が開会の挨拶を行い、議長に松島代議員（東）田村代議員（夕）を推薦し、満場一致で確認され、事後の運営を議長へ託した。そして、指名を受けた議長各自から就任の挨拶があり、大会書記に、緒方執行委員（東）と堀執行委員（南）選任の提案を満場の拍手で承認。

続いて、大会諸役員の資格審査・議事運営委委員に角屋（東）、結城（北）、坂上（西）、薗田（南）、中江（夕）代議員に浦田執行委員（本部議運）の提案が満場の拍手で承認された。

菅原新執行委員長

太田前委員長

続いて、太田執行委員長から「本日は、日曜日にもかかわらず多くの代議員には第64回定期大会への参加ご苦労様です。又、早朝から区議会議員をはじめ多くのご来賓の皆様に参加いただき心から感謝申し上げますと共に後ほど連帯のご挨拶を宜しくお願い申し上げます。今年は結成60周年という記念すべき年に執行委員長という大役を果たさせていただき、感謝と同時に出来なかったことも多く申し訳なく感じています。連合結成30年という年でもあり、我々の労供事業、それを取り巻く政治、経済情勢などどれを見ても多くの困難が待ち受けている中で、私自身70年という節目に当たり、若い方々にバトンを引き渡すということで、今回の大会をもちまして退任することにいたしました。新たな役員体制のもと、来年度に向けて組合員の団結力を強めていただき、労供事業の更なる発展、飛躍と平和への貢献を期待するものです。代議員諸兄の積極的な議論を期待して大会冒頭の挨拶とさせていただきます。」と開会に加えて退任の挨拶がなされた。

続いて、ご来賓の挨拶に移り、河野達男新宿区議から杉浦賢次連合東京会長、佐藤正男東京交運労協副議長、高安邦彦自運労副委員長、折井洋之新運転中央委員長の順で、それぞれの立場から60周年を迎えたお祝いと激励・連帯の挨拶をいただき、満場の拍手で感謝の意を表す中、退場頂いた。

河野新宿区議

そして、激電・メッセージ47通の内、私鉄総連東京のメッセージを議長が読み上げ、全体の拍手で感謝の意を表した。

その後、浦田資格審査議事運営委員長から代議員定数79名中77名出席し、大会成立の確認と大会日程、および動議提出の提案がなされ、拍手で承認された。

杉浦連合東京議長

続いて大会表彰は、運転手718名、作業員376名の無事故無違反優良組合員の内、10年表彰の北支部池田組合員に太田委員長から表彰状が送られた。

佐藤東京交運労協副議長

そして議事に入り、2019年度経過報告と決算報告を川村書記長、2019年度の会計監査報告を石橋会計監査が行った。

その経過報告、とりわけ60周年を記念する諸活動として、沖縄・広島・長崎・そして根室と続く連合の平和行動に初めて青年部を中心に延べ20人組織的参加を果たしたこと。一昨年から始まった清掃就労者の有期供給契約と不就労証明発行の停止などによる組合員意識の低下に対応した各職場集会の開催、支部段階での福利厚生活動などの取り組み強化。春から夏にかけての統一自治体選挙と参議院選挙の過去にない取り組みと勝利。そして、70歳以上で就労機会のない組合員を対象とした特別餞別金の実施などが報告された。

高安自運労副委員長

その内の経過報告に対する質疑応答があり、議長が採決を拍手で求めたところ圧倒的多数の拍手で承認された。

そして昼食休憩をはさんで、2019年度決算報告と会計監査報告について、外山代議員から求められていた質問事項の外山会計監査が監査報告書に認印を押さなかった理由について議論となったが、第876回執行委員会議事録の通り解決済みとなった。

折井中央委員長

続いて、本大会の主要議題となる2020年度の運動方針案と予算案を「・組織の財政改革と拡大・交通安全対応強化・労供事業の制度確立と賃金労働条件交渉・労働者自主福祉運動の強化・平和と民主主義を守る連帯強化」という5本柱で川村書記長が提案した。

その提案を受けて、昼休みに代議員から提出された3本の動議「労働協約1条の変更と事故防」「支部独自運営制の導入」「選挙規程の見直し」について、議事運営委員会から1本は方針案と無関係ということで取り下げ、2本については本大会以降の審議事項とする旨の提案を承認し、質疑応答に移った後、運動方針案と予算案について全体の圧倒的拍手で確認された。

引き続いて行われた役員選挙は、執行委員長に立候補していた橋上東支部組合員は欠席だったため、菅原副委員長と赤岩北支部代議員からの決意表明を受け投票となり、結果は菅原候補が67票、赤岩候補が10票、橋上候補が0票となり、菅原候補が当選となった。大会選出役員の副委員長は立候補者が定数2名、浦田司と鴨澤　城で当選、書記長は川村　勝、書記次長は椎葉　誠、統制委員長は伊藤泰造、会計監査は林　秀雄、浅野靖之で当選となり、更に、支部選出役員名を清水選管委員長が読み上げて全体の拍手で確認した。

その新役員確定後に、川村書記長から太田前委員長を顧問に委嘱したい旨の提案があり、全体の拍手で確認された。そして、新旧役員挨拶のところでは、太田前委員長から「改めて2年間の委員長職とその前の篠崎、北浦、宮田、草苅委員長達の下での書記長時代も含めて新運転東京地本に対する感謝の気持ちを表明し、今後は委嘱を受けた顧問と共に新運転中央や労供労連役員の務めを組合員皆さんと共に取り組み、労供事業の新たな飛躍に向けて頑張っていきたい。」という趣旨の挨拶を受けた。

そして、大会決議案を中野篤志執行委員、大会宣言を野村　圭新執行委員がそれぞれ読み上げて提案し、満場一致で採択した。

続いて、大会スローガンを松島議長が読み上げ提案し、満場の拍手で確認された後、議長が大会諸役員を解任し、降壇した。

最後に、菅原新執行委員長より「新運転結成60周年を迎えた記念すべき今大会において執行委員長に選任されたことの感謝と同時に責任の重さを自覚しています。4年間、東支部長としての活動の中で、雇用保険問題に端を発して多くの清掃従事者が有期供給契約に移るという大きな変化を体験してきたわけです。

その変化は、今後も様々な形で私たちの労供事業の在り方に影響を及ぼすことは確実だと思います。

それだけに職場を基礎とした組合員の団結、東京地本への帰属意識を高めて行く活動をより積極的に取り組んでいきたいし、又取り組んでいかなければならないと決意しています。」という趣旨の決意表明と閉会宣言がおこなわれ、団結ガンバロー三唱をもって午後3時過ぎに議事を終了した

大会スローガン（案）

一、組織財政改革と労供労連東京の組織拡大を図り、新たな新運転の「未来へ挑戦」しよう！

一、無事故・無違反・無災害を貫徹し、安全・安心・安定・信頼の「新運転ブランド」を確立しよう！

一、労供事業の制度確立と賃金労働条件の向上を青年女性部・特対部
全組合員が「新運転」の旗の下、心一つに団結し勝ち取ろう！

一、連合東京・東京交運労協・中央労働金庫・こくみん共済コープと連携を深め「労働者自主福祉運動」を推進しよう！

一、憲法九条の精神を基に、平和と民主主義、人権と環境を守る「連帯活動を強化」しよう！

二〇一九年十一月十七日
新産別運転者労働組合東京地方本部
第六十四回定期大会

役員一覧

執行委員長	菅原　元	（本部）
副執行委員長	鴨澤　城	（北支部）
〃	浦田　司	（西支部）
書記長	川村　勝	（本部）
書記次長	椎葉　誠	（本部）

連合東京の台風19号 被災地ボランティア派遣に参加！

支部・タクシー部便り

■東支部

支部だより冒頭ではありますが、前回の支部だより内において、私の認識違いにより各支部組合員さんに誤解を与え、各支部、支部長及び書記の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたこと、紙面ではありますがお詫び申し上げます。誤解を与えた内容ですが、台風による被災した組合員さんに「生活共済」の活用を促す内容を書きましたが、組合員さんに保険金が支払われるのではないかと誤解を与えてしまいました。正しくは『お見舞金』であり罹災証明を提出したのち執行委員会で諮り決定した場合支払われることとなっております。今後はより一層規約規定等を勉強し、皆さまに誤解を与えぬ紙面作りを行ってまいります。

さて東支部は新体制になり早一カ月が過ぎようとしております。尾崎新支部長は慣れないながらも日々の窓口業務、各社への挨拶回り、組合員集会等で精力的に動いております。そして12月24日から始まる東京23区清掃事業の年末年始対策車等の配車を悩ませながら行っております。我々執行委員はもとより、各役員、組合員が協力し合いながら尾崎新支部長を支えていかなければいけないと私は考えております。

今年一年、大変残念ではありますが、大小含めての事故が東支部が一番多い結果となってしまいました。このことを踏まえ先日行われた運営委員会において、今後の支部の方針として、事故撲滅に向けて今まで以上の対策を講じ、事故を一件でも減らし、各組合員の就労維持、新運転プランドの向上を目指していく事を決めました。

本部の体制も新しくなり、太田前委員長は顧問、菅原前支部長は執行委員長に就任しました。我々は諸先輩方が作り上げてきた新運転を守り、次の世代へと渡していかなければならないと考えており、その為には皆さんのご協力が不可欠であります。協力し合いながらこの年末年始を無事故・無災害で乗り越え、年末年始後の1月12日東支部で行われる旗開きに皆笑顔で会いたいと思います。

師走というとても忙しい時期ですが、共に頑張りましょう！

執行委員　山本高正

■北支部

師走を迎え慌ただしい時期になりました。交通量も徐々に増え組合員の皆さんには、より一層の安全運転並びに作業に留意して下さい。北支部のこの一年を振り返りますと、1月12日（土）支部の旗開き、3月23日（土）お花見、6月9日（日）健康診断、6月29日（土）ボーリング大会と、青年部を中心として多くの組合員の協力のもと、このような行事を無事に行うことができたことを感謝しています。

そして本年度は、支部、本部の役員選挙の年でもありました。一昨年来、清掃業務への就労者の大半が一年間の有期供給契約となり、不就労の認定を切ることもなく、組合費も職場委員が各就労先でまとめて支部に納入するところが増え、支部に来ることが減ったことから10月の支部選挙の投票率を心配していましたが北支部組合員の7割にあたる490名が投票に来てくれました。

東京地本の組合員としての帰属意識が薄れているかのような昨今、多くの方が投票に来てくれるのは嬉しい限りでした。

11月17日の第64回新運転定期大会をもって新役員が選出され、本部、支部とも新しいスタートを切っています。継続中の課題は勿論ですが、新たな問題も既に出てきおり一つ一つ課題に取り組み、より良い組合になればと考えています。

支部長　鴨澤　城

■南支部

あけましておめでとうございます。今年も一年間、ケガ無き、事故無きようにガンバリましょう。

2月9日は支部の旗開きです。皆様の参加をお待ちしております。

ついこの間、私自身AED（自動体外式除細動器）の凄さをまざまざと知った事がありました。

その時は、前触れなく訪れた。「人が倒れた」北海道の街中に響く声。店の中に叫びながら飛び込んで来た。そのお店の中に置いてあるAEDを借りて119番と指示をしながら走り出した。即座に電気ショック等を行っていると、居合わせた女性が駆け寄り心肺蘇生を施こしていた。後から聞くと「看護師の人」だった。通報した救急隊も間もなく到着し、さらにドクターヘリを要請。連携プレーで一命を取り留めた。かつては医師しか使用できなかったAEDが、一般の人も使えるようになったのは約15、6年前の事だったと思います。

私達もこれからは他人事ではなく講習を受け訓練を重ねていきたいものです。

昨年は事故が多い年でした。今年は、事故ゼロを目指してみんなでガンバッテまいりましょう。

支部長　樋口　浩

■西支部

師走の候、どの様にお過ごしでしょうか。全国でインフルエンザが猛威を振るい多くの人が感染しています。私自身、年に一度は必ずかかるのですが今年はまだ無事です。それは多くの人が出入りする施設や電車という密閉空間になるべく出入りせず、必ずアルコール消毒をしたからかもしれません。皆さんもお気を付けください。

さて、12月21日は、連合東京が継続して行うボランティア活動に福島県いわき市に行ってきました。

私自身、東日本大震災以降、積極的に参加していますが、被害にあった家族はとても大変です。特にお金では買えない思い出が詰まったものが流されてしまいます。

同時に高齢者のご家庭は、自身でお片付けするのも困難であり、余計に体を壊す可能性もあります。私達世代が、積極的に取り組んで行動を起こさなければ日本は滅びます。超高齢化社会を迎える今日、助け合うことがどれだけ大事か一人一人が考えなければならないと思います。

一方で、支部の方に目を向けると、相変わらず運転

去る、12月13日から14日にかけて、福島県いわき市に青年部から私を含めて4名が参加しました。

先ず、13日夕方6時半に連合東京に集合し、我々を含めて32名が東急バスで約3時間をかけ現地に向かいました。翌朝、ボランティアセンターで団体受付をし、途中、「台風19号」で決壊し被害の爪痕が残る夏井川を視察してから被災された個人宅に到着し、畑、前庭、裏庭と3班に分かれて洪水時に堆積して固まった泥の剥離作業を行いました。5㎝程のカラカラに乾いて固まっている土で、すぐに剝がれて土嚢袋は次々と積み上がってきましたが、比例するように足腰が悲鳴をあげてきたので休み休みゆっくりとお昼休憩をとり、午後2時には作業を終えました。このお宅は古い農家で土壁の納屋や蔵等がある広大な敷地で今回の作業を家人だけでは、とても出来ないことだと思いました。この日延べ50名で、やっと出来た作業でした。

最後に、家人の90歳を超えた女性が涙を流しながら感謝されたのが深く心に残りました。

その後、温泉施設で汗と汚れを落とし帰路につき田町に着いたのが夜の9時前でした。今回、連合東京の派遣団としては第4陣、新運転としては先発隊で「初めて体験することばかりで、とても勉強になった。」「組合としての連帯感や一体感を感じ取った。」との声があり、各支部、各職場に今日の事を伝えていきたいと青年部らしい前向きで元気な意見がありました。

尚、21日からの第5陣には浦田西支部長を中心に青年部4名が参加し、バトンを繋ぎました。

書記次長　椎葉　誠

台風・豪雨被災への緊急カンパ！

東京地本として10月の執行委員会と評議員会で決定した緊急カンパの取り組みは、第64回定期大会や合同青年部集会、各支部で集約した結果、77,000円となった。

そこで去る12月9日、代表して川村書記長から杉浦連合東京会長に手渡して、各被災地へ届けてもらう確認をした。

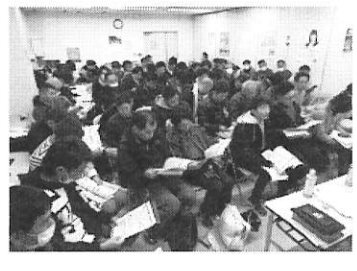
第4回合同青年部会議！本部会議室に70名参加！

去る12月1日（日）10時、各支部・タクシー部・タブレット就労者の青年部員にオブザーバーとして川村書記長と椎葉書記次長が参加し、2時間たっぷりの有意義な議論が交わされた。議長選出後の各支部報告では、＊若手組合員の流失について＊優良組合員がステップアップできる環境等＊5年無期ルールに対して＊1年間の総括として問題点と今後の課題を話し合った＊若手青年部員を増やす為のコミュニケーション強化＊労働者自主福祉運動の加入促進＊一部の就労先で青年部主催のイベントを依頼された＊新運転ブランドを念頭に台風時の通勤困難対策で、派遣先から大変評価を受けた＊青年部活動を理解する為にも各支部の見学等を望む等多様な報告を確認した。

議案のこれからの青年部活動については、＊青年部員の選任制⬇継続＊青年部の活性化⬇承認＊青年部旗開き⬇承認＊普通救命講習会等と共に企画、提案をしていくことを確認した。

その他として、被災地ボランティア等の提案があった。本部からまさに現在進行形で「連合東京」から福島県いわき市の派遣の要請があるとの報告があった。休暇の都合等あるが、13名の有志が集まり派遣の検討を確認した。

まとめとして、本部の川村書記長から「新運転東京の大半をしめる清掃就労者が有期供給契約になって来年には3年目の更新を迎える。5年無期ルールが迫ってきているが、どの様な展開になるか、まだ全く分からない状態になっている。そこで青年部は何を思い、どのような行動をするかを考え、将来的なビジョンを立て未来の『新運転東京地本』の礎になるように積極的かつ具体的な行動や議論を進めてもらいたい」との提案があり、確認され閉会となった。



同時に作業員も一人しかつかないから自然と比較的若い運転手がやる結果となり、高齢組合員の仕事が限定されてくるのです。このような状況を打破するためにも、現場の働き方を見直さなければならないと思います。

賃金労働条件は勿論のこと、安心して組合員を供給するためにも、今後の課題として取り組んでまいりたいと思います。

支部長　浦田　司